

Microsoft SharePoint[®] Web パーツ

Microsoft SharePoint Web パーツとは

Microsoft SharePoint Web パーツモジュールは、OnBase ユーザーが検索、リトリブ、表示、および OnBase 文書との対話や SharePoint Web ページ内から業務を遂行するために必要なコラボレーションスペースを提供します。

どのように機能するか

このモジュールは、Microsoft SharePoint Services と Microsoft SharePoint Portal Server Web ページで OnBase Web サーバーのステータスビューコンポーネントを表示します。ステータスビューにより、Web クライアントのユーザーはポイント・アンド・クリックでポートレットと呼ばれる Web ポータルコンポーネントを使用して OnBase 内にカスタムユーザーインターフェースを設定できます。これらのポートレットは、各エンドユーザーに対してカスタマイズされた OnBase コンテンツのビューを提供します。標準的な文書リスト表示から対話式の 3D ビジュアルグラフィック概要まで、ユーザーはニーズに最適なコンテンツフォーマットを選択できます。OnBase ポートレットを含む SharePoint Web パーツにより、OnBase ポートレットを SharePoint Web ページに埋め込むことができます。SharePoint 管理者とユーザーは、高度なダッシュボードからビューに至るまで、迅速に複雑で極めてカスタマイズしたインターフェースを構築することができ、トランザクションプロセスの管理と監視を効率よく行えます。Microsoft SharePoint OnBase Web パーツは、要求される高度なユーザーセキュリティを維持しながら、シングルサインオンによる標準的な認証方法を可能にします。つまり、ユーザーは毎回ページをロードするたびに OnBase 認証入力を行う必要がなく、シームレスで煩雑さのない環境を提供します。

だれが利用できるか

Microsoft SharePoint Web パーツは、SharePoint 環境の拡大を促進させ、カスタム開発なしで OnBase エンタープライズコンテンツ管理を組み込みます。エンドユーザーは、一貫性を持つブラウザベースの SharePoint クライアントインターフェース経由でレガシー業務アプリケーションと平行して OnBase が提供する、高ボリュームのイメージングやトランザクション、ワークフロープロセスすべてにアクセスできます。

技術的特長

- Web ベースのコンテンツ管理とワークフローアクセス
- カスタム開発の必要がなく、展開が容易な Windows インストーラを含む
- ポイント・アンド・クリックで設定可能
- ユーザーセキュリティにシングルサインオンを採用

ビジネス利点

- 世界中のどこからでも安全なエキストラネット経由で OnBase コンテンツとワークフローにリアルタイムにアクセス
- 標準的な Web ブラウザインターフェイス使用で、トレーニング時間を短縮
- OnBase と Microsoft SharePoint への投資を活用し、OnBase と Microsoft SharePoint の 2 つのビジネスソリューションを単一インターフェースに統合

システム要件

- OnBase Web サーバーと有効なクライアントライセンス
- Windows NT 認証を使った展開 : SharePoint Services 2.0 を含む Microsoft Windows Server 2003 が必要
- Microsoft SharePoint Portal Server のシングルサインオンを使った展開 : SharePoint Services 2.0 と Microsoft SharePoint Portal Server 2003 (OS とは別売り) を含む Microsoft Windows Server 2003 が必要